

様式-3

アスファルト混合物報告書

令和6年 2月 26日

鳥取県県土整備部  
技術企画課長 様

製造工場 永瀬産業株式会社  
所在地 日野郡日野町本郷1692  
工場名 日野工場

配合の設計条件				
配合物の種類	骨材の最大寸法	基準密度	混合温度	
再生アスファルト安定処理	20 mm	2.364 g/cm <sup>3</sup>	160 °C	
空隙率	飽和度	安定度	フロー値	
7.0 %	56.5 %	7.72 kN	28 l/100cm	
D S 値				
回/mm				
使用材料および配合表				
使用材料名	産地名	生産者名	配合率	備考
ストレートアスファルト		ENEOS(株)	1.5 % ※(4.0 %)	
石粉	岡山県新見市足立	足立石灰工業(株)	2.3 %	
碎石	5号 岡山県真庭市神代	(株)マルケイ	31.0 %	
	6号 岡山県真庭市神代	(株)マルケイ	7.0 %	
	7号 岡山県真庭市神代	(株)マルケイ	7.6 %	
砂	粗砂 日野郡日南町花口	生山礫業(株)	1.1 %	
	細砂 鳥取県東伯郡北栄町松神	(株)北和	0.5 %	
スクリーニングス	岡山県真庭市神代	(株)マルケイ	0.5 %	
再生骨材 13mm	鳥取県米子市大篠津町	永瀬産業(株)	50.0 %	内アスファルト 2.5%含む
添加剤( ) 配合率 %				

※旧アスファルトを含む

試験結果一覧表

工種：再生アスファルト安定処理

【骨材配合率】

骨材名		5号碎石	6号碎石	7号碎石	粗砂	細砂	SC	F	再生骨材		
配合率 (%)		31.0	7.0	7.6	1.1	0.5	0.5	2.3	50.0		

【現場配合率】

ピンNO.	4ピン	3ピン	2ピン	1ピン	F	再生骨材					
配合率 (%)	30.7	7.3	7.5	2.5	2.0	50.0					

【合成粒度】

ふるい目	37.5 mm	31.5 mm	26.5 mm	19.0 mm	13.2 mm	4.75 mm	2.36 μm	600 μm	300 μm	150 μm	75 μm
粒度範囲	95 ~ 100	~	~	50 ~ 100	~	~	20 ~ 60	~	~	~	0 ~ 10
予定粒度			100.0	98.9	70.0	45.0	30.0	16.0	11.8	7.7	5.1
合成粒度			100.0	98.7	70.0	45.0	30.0	15.7	11.4	7.4	5.0

【マーシャル試験結果】

・アスファルト量

項目	単位	試験値	共通範囲
O A C	%	4.0	3.0 ~ 5.0

・試験結果

項目	単位	試験値	基準値
密度	g/cm <sup>3</sup>	2.364	
理論最大密度	g/cm <sup>3</sup>	2.541	
空隙率	%	7.0	3 ~ 12
骨材空隙率	%	16.1	-
飽和度	%	56.5	- ~ -
安定度	kN	7.72	3.43 以上
フロ-値	1/100cm	28	10 ~ 40

備考

【プラント温度管理】

	目標温度	温度管理	備考
骨材加熱温度	190 °C	-	
アスファルト加熱温度	155 °C	± 15 °C	
合材混合温度	160 °C	± 25 °C	

## 使用材料の物理性状表

		5号碎石	6号碎石	7号碎石	粗砂	細砂	SC					摘要
ふるい通過重量%	37.5 mm											
	31.5 mm											
	26.5 mm	100.0										
	19 mm	96.5	100.0									
	13.2 mm	4.0	96.9	100.0								
	4.75 mm		2.8	95.2	100.0		100.0					
	2.36 mm			2.7	97.3	100.0	97.1					
	600 μm				38.6	97.3	50.7					
	300 μm				9.9	58.4	32.8					
	150 μm				4.1	13.1	17.5					
	75 μm				1.0	2.7	8.1					
比重	表乾	2.718	2.674	2.680	2.538	2.535	2.613					
	見かけ	2.739	2.713	2.719	2.568	2.651	2.676					
吸水量 %		0.433	0.851	0.859	0.766	2.838	1.451					
すりへり減量 %		10.6	13.3	13.3								
安定性 %		5.6	5.1	1.1								
軟石量 %		3.4	2.6	0.0								
粘土塊量 %		0.06	0.11	0.13								
単位体積重量 kg/1		1.58	1.58	1.53	1.66	1.55	1.79					
剥離抵抗性 %			3									

## 材料の生産地

材料名	生産地	業者名	材質	
砕石	5号砕石	岡山県真庭市神代	(株)マルケイ	硬質砂岩
	6号砕石	岡山県真庭市神代	(株)マルケイ	硬質砂岩
	7号砕石	岡山県真庭市神代	(株)マルケイ	硬質砂岩
	再生骨材	鳥取県米子市大篠津町	永瀬産業(株)	-
砂	粗砂	鳥取県日野郡日南町花口	生山礦業(株)	加工砂
	細砂	鳥取県東伯郡北栄町松神	(株)北和	天然砂
	SC	岡山県真庭市神代	(株)マルケイ	硬質砂岩
石粉	岡山県新見市足立	足立石灰工業(株)	石灰岩	
アスファルト	-	ENEOS(株)	-	

様式-5

再生骨材試験結果一覧表			
工事名	報告年月日 令和6年1月9日		
製造所	永瀬産業(株)		
種類	再生骨材(13.2~0)	試験者氏名	遠藤康裕

項目		平均値	再生骨材規格
粒度試験結果 (%)	19.0 mm		—
	13.2 mm	100.0	
	4.75 mm	66.3	
	2.36 mm	50.8	
	600 μm	24.9	
	300 μm	17.8	
	150 μm	10.3	
	75 μm	6.1	
旧AS含有量	(%)	5.03	3.8 以上
旧AS針入度	(1/10cm)	37	20 以上
洗い試験損失量	(%)	1.87	5 以下
最大比重	(g/cm <sup>3</sup> )	2.485	—
骨材比重	(g/cm <sup>3</sup> )	2.680	—
備考			
採取地：米子市大篠津町			

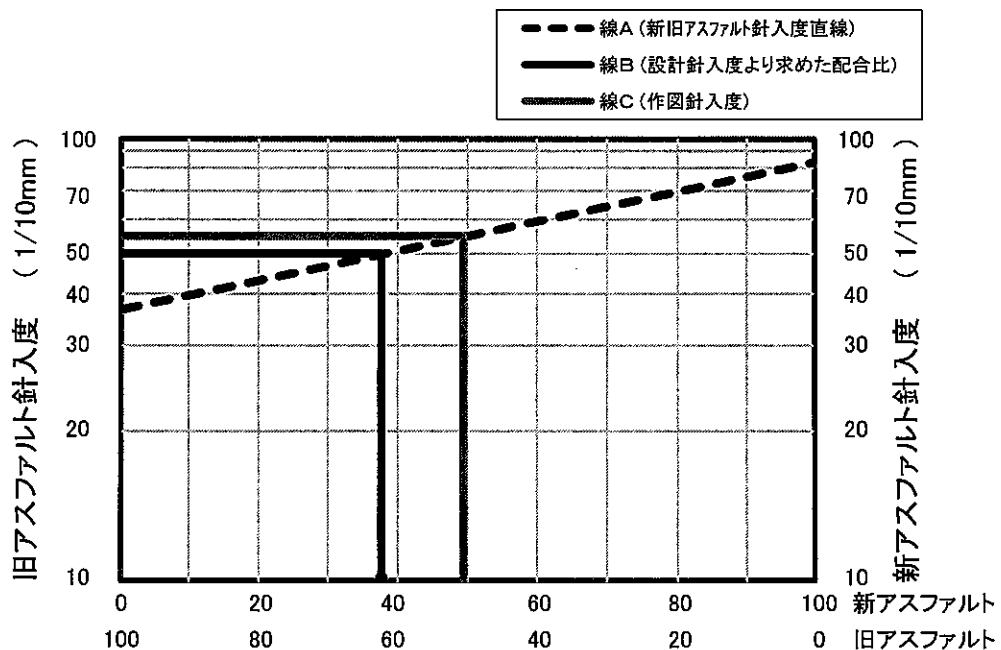
# 新アスファルトによる設計針入度の調整

( 項 目 )	( 目 標 値 )
設計針入度 (1/10mm)	50 以上
粒 度	アスファルト安定処理
再生アスファルト量 (%)	4.0

- ① 設計針入度の調整を新アスファルト(針入度80-100)で行う。
- ② グラフ上に新アスファルトと旧アスファルトの各針入度を結ぶ線(線A)を引く。
- ③ グラフの線Bより設計針入度50となる新アスファルトと旧アスファルトの配合割合を求める。  
 新アスファルト 約 40 %  
 旧アスファルト 約 60 %
- ④ 再生アスファルト混合物の目標アスファルト量を新アスファルト量:旧アスファルト量の比で分ける。  
 目標アスファルト量 4.0 %  
 ↓  
 新アスファルト 約 1.6 %  
 旧アスファルト 約 2.4 %
- ⑤ 再生骨材配合率を次式より求める。ただし、結果数値は5% きざみとする。  

$$\frac{\text{旧アスファルト量}(\%)}{\text{旧アスファルト含有量}(\%)} \times 100$$

$$= \frac{2.4}{5.03} \times 100 \approx 50 \%$$
- ⑥ 再生骨材配合率 50% 以下となる。  
 よって、再生骨材 50%・新骨材 50% で今回の配合試験を行う。



新アスファルトによる設計針入度の調整結果

※ 線C…作図針入度

種 別	針入度 (1/10mm)	配合比率 (%)	作図針入度	実測針入度
新アスファルト	83	50	55	54
旧アスファルト	37	50		

予定配合

骨 過 重 材 量 百 分 率 度 (%)	ふるい目	所要骨材粒度範囲	予定粒度
	37.5 mm	95 ~ 100	
	31.5 mm	~	
	26.5 mm	~	100.0
	19 mm	50 ~ 100	97.5
	13.2 mm	~	70.0
	4.75 mm	~	45.0
	2.36 mm	20 ~ 60	30.0
	600 μm	~	-
	300 μm	~	-
150 μm	~	-	
75 μm	0 ~ 10	5.0	

アスファルト量(%)	3.0 ~ 5.0
アスファルト針入度	80 ~ 100
備 考	

骨材ふるい分け及び比重吸水試験

試験年月日：令和 6 年 1 月 9 日

担当者： 田川 文男

ふるい目	5号碎石		6号碎石		7号碎石		粗砂		細砂		SC		F		R材		通過 %	通過 %	通過 %		
	残留重量	通過 %	残留重量	通過 %	残留重量	通過 %	残留重量	通過 %	残留重量	通過 %	残留重量	通過 %	残留重量	通過 %	通過 %	通過 %					
37.5 mm																					
31.5 mm																					
26.5 mm			0	100.0																	
19 mm			179	96.5	0	100.0															
13.2 mm			4742	4.0	129	96.9	0	100.0												100.0	
4.75 mm			205	0.0	3869	2.8	101	95.2	0	100.0			0	100.0						66.3	
2.36 mm					115	0.0	1936	2.7	29	97.3	0	100.0	29	97.1						50.8	
600 μm							55	0.0	630	38.6	28	97.3	469	50.7						100.0	24.9
300 μm									308	9.9	409	58.4	181	32.8						100.0	17.8
150 μm									62	4.1	477	13.1	155	17.5						98.1	10.3
75 μm									33	1.0	109	2.7	95	8.1						88.6	6.1
受 皿									11	-	29	-	82	-						-	-
合 計			5126		4113		2092		1073		1052		1011								
表乾比重				2.718		2.674		2.680		2.538		2.535		2.613						-	-
見かけ比重				2.739		2.713		2.719		2.568		2.651		2.676						2.73	-
吸水率				0.433		0.851		0.859		0.766		2.838		1.451						-	-
最大比重				-		-		-		-		-		-						-	2.485

使用予定骨材の合成粒度

		5号碎石	6号碎石	7号碎石	粗砂	細砂	SC	F	R材		
修正配合率 (%)		31.0	7.0	7.6	1.1	0.5	0.5	2.3	50.0		
37.5 mm											
31.5 mm											
26.5 mm		100.0									
19 mm		96.5	100.0								
13.2 mm		4.0	96.9	100.0					100.0		
4.75 mm		0.0	2.8	95.2	100.0		100.0		66.3		
2.36 mm			0.0	2.7	97.3	100.0	97.1		50.8		
600 μm				0.0	38.6	97.3	50.7	100.0	24.9		
300 μm					9.9	58.4	32.8	100.0	17.8		
150 μm					4.1	13.1	17.5	98.1	10.3		
75 μm					1.0	2.7	8.1	88.6	6.1		

各骨材別配合比													
		5号碎石	6号碎石	7号碎石	粗砂	細砂	SC	F	R材			合成 粒度	予定 粒度
37.5 mm													
31.5 mm													
26.5 mm		31.0										100.0	100.0
19 mm		29.9	7.0									98.9	97.5
13.2 mm		1.2	6.8	7.6					50.0			70.0	70.0
4.75 mm		0.0	0.2	7.2	1.1		0.5		33.2			45.0	45.0
2.36 mm			0.0	0.2	1.1	0.5	0.5		25.4			30.0	30.0
600 μm				0.0	0.4	0.5	0.3	2.3	12.5			16.0	-
300 μm					0.1	0.3	0.2	2.3	8.9			11.8	-
150 μm					0.0	0.1	0.1	2.3	5.2			7.7	-
75 μm					0.0	0.0	0.0	2.0	3.1			5.1	5.0

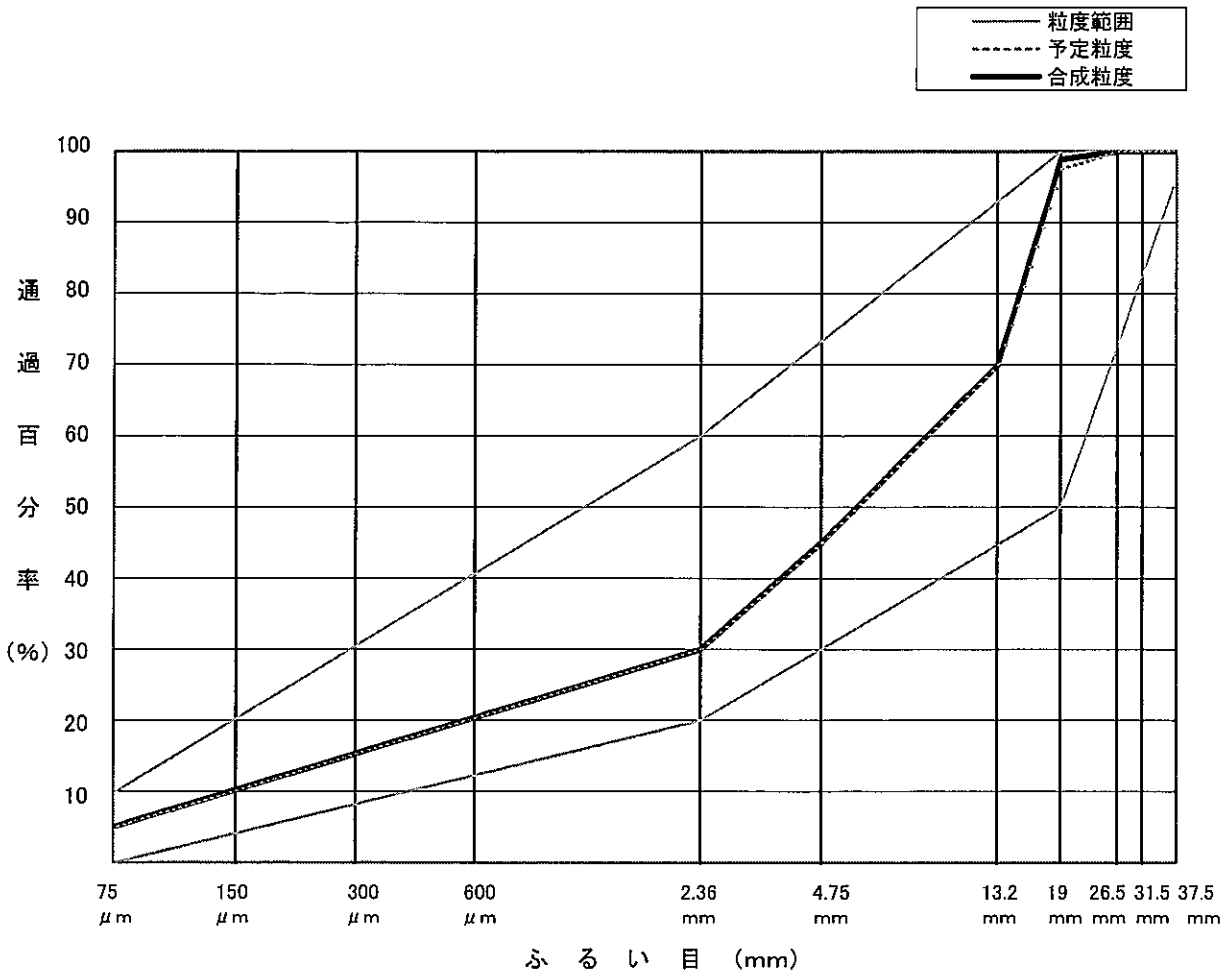
比重補正骨材配合比

												計
骨材配合 (1)												
比重 (2)												
(1)×(2)												(3)
比重補正骨材 配合比 ※1												

※1 (1)×(2)÷(3)×100

粒度加積曲線図

工種：再生アスファルト安定処理



理論最大密度の計算表

● 骨材配合

骨材の種類	配合比 %		骨材の比重	係数
	A	B		
	骨材のみ (内割)	IBAS (外割)	C	D=B/C
5号碎石	31.0	31.00	2.739	11.318
6号碎石	7.0	7.00	2.713	2.580
7号碎石	7.6	7.60	2.719	2.795
粗砂	1.1	1.10	2.568	0.428
細砂	0.5	0.50	2.651	0.189
SC	0.5	0.50	2.676	0.187
F	2.3	2.30	2.73	0.842
R材	50.0	52.65	2.485	21.187
	I =	102.65		
IBAS量	2.65 (外割%)			
係数の和			K = 39.526	
備考				

● 新アスファルト添加量

再生AS量%	3.00	3.50	4.00	4.50	5.00
再生AS量% (外割%)	3.09	3.63	4.17	4.71	5.26
旧AS量% (外割%)	2.65				
再生用添加剤量% (外割%)	-	-	-	-	-
新AS量% (外割%)	0.44	0.98	1.52	2.06	2.61
新AS / IBAS 比	14 / 86	27 / 73	36 / 64	44 / 56	50 / 50

● 理論最大密度

AS混合率%	AS密度				理論最大密度
E	F	$G = \frac{E}{F}$	K	H = G + K	$\frac{(I+E)}{H}$
0.44	1.037	0.424	39.526	39.950	2.580
0.98		0.945		40.471	2.561
1.52		1.466		40.992	2.541
2.06		1.986		41.512	2.522
2.61		2.517		42.043	2.504



マーシャル安定度試験

成型日: 令和 6 年 1 月 10 日

試験日: 令和 6 年 1 月 12 日

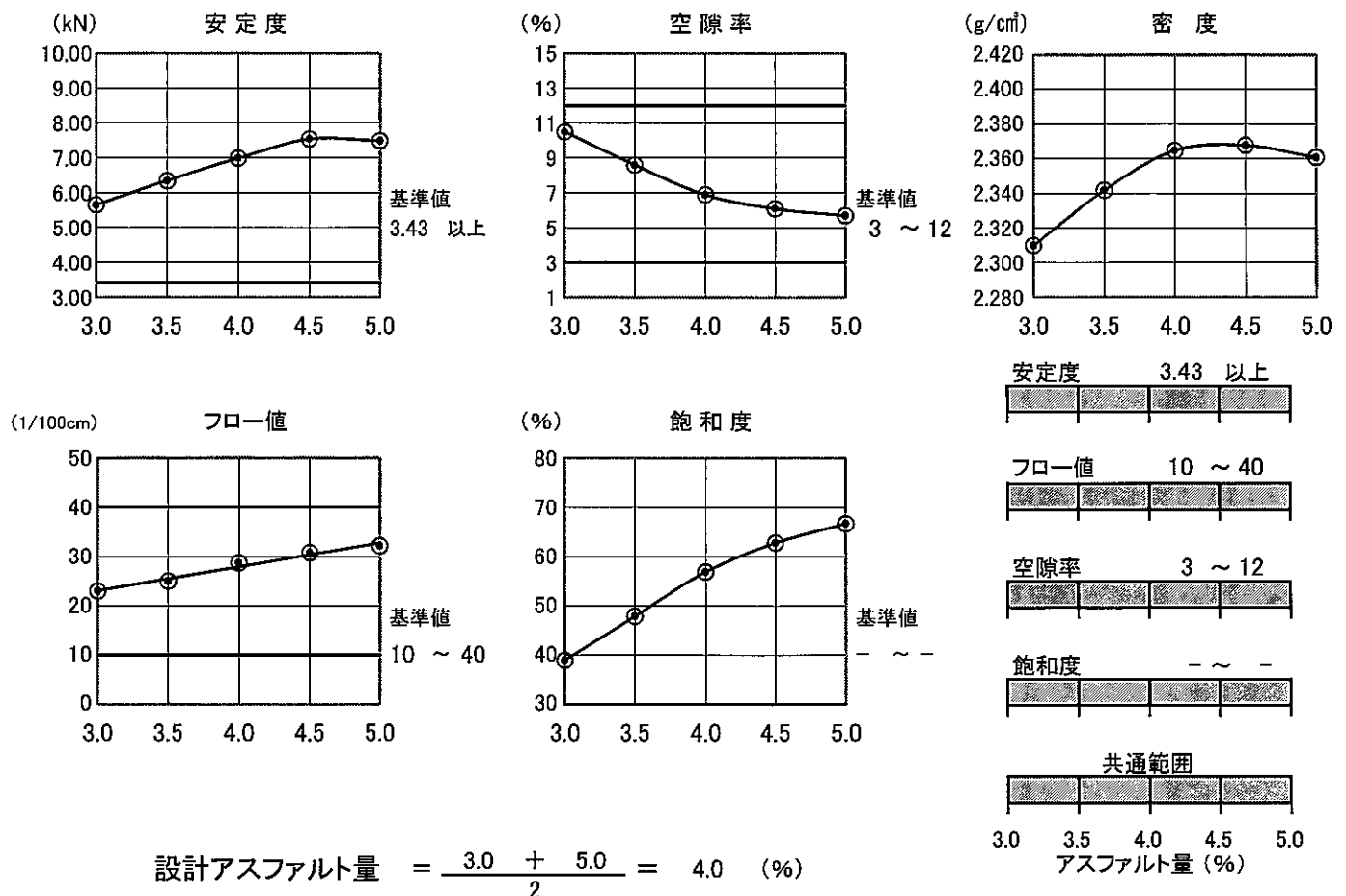
測定者: 田川 文男

工種: 再生アスファルト安定処理

供試体 NO	AS %	厚さ	重 量			密度 (g/cm <sup>3</sup> )	理論最大密度	AS容積率 (%)	空隙率 (%)	骨材空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度		フロー値 1/100cm
			空 中	水 中	表 乾							目盛	kN	
			A	B	C							D	E	
		平均				C/(E-D)		A×F /AS密度	100× (1-F/G)	H + I	100×H/J		L× 0.137	
1	3.0	633	1191.7	685.6	1202.2	2.307						38	5.21	23
2		628	1182.8	681.6	1193.0	2.313						44	6.03	24
3		629	1183.1	681.4	1193.3	2.311						42	5.75	23
平均						2.310	2.580	6.7	10.5	17.2	39.0		5.66	23
4	3.5	637	1203.1	694.9	1210.4	2.334						40	5.48	22
5		634	1205.3	699.0	1213.2	2.344						49	6.71	26
6		638	1215.4	705.3	1223.2	2.347						50	6.85	27
平均						2.342	2.561	7.9	8.6	16.5	47.9		6.35	25
7	4.0	635	1211.9	705.5	1217.7	2.366						51	6.99	28
8		639	1215.5	706.6	1221.0	2.363						49	6.71	28
9		642	1224.6	712.7	1230.1	2.367						53	7.26	30
平均						2.365	2.541	9.1	6.9	16.0	56.9		6.99	29
10	4.5	628	1203.2	698.3	1208.1	2.360						50	6.85	26
11		631	1214.5	706.6	1218.8	2.371						57	7.81	33
12		639	1229.6	715.1	1233.5	2.372						58	7.95	33
平均						2.368	2.522	10.3	6.1	16.4	62.8		7.54	31
13	5.0	627	1210.6	701.3	1213.8	2.362						55	7.54	34
14		627	1210.0	700.6	1213.1	2.361						55	7.54	32
15		633	1221.0	707.0	1224.4	2.360						54	7.40	31
平均						2.361	2.504	11.4	5.7	17.1	66.7		7.49	32

標準マーシャル試験	混合温度	149 °C	締固め回数両面各	50 回	供試体の浸漬時間	30 分
	締固め温度	137 °C	試験時の水温	60 °C	AS密度	1.037 g/cm <sup>3</sup>

設計アスファルト量の設定図



# 骨材ふるい分け及び比重吸水試験（現場配合）

試験年月日： 令和 6 年 1 月 15 日 担当者： 田川 文男

工 種： 再生アスファルト安定処理

(ピンNO. についての詳細は、後頁『配合表』を参照のこと)

ふるい目	4ピン		3ピン		2ピン		1ピン		F		R材										
	残留重量	通過%	残留重量	通過%	残留重量	通過%	残留重量	通過%	残留重量	通過%	残留重量	通過%	残留重量	通過%	残留重量	通過%	残留重量	通過%	残留重量	通過%	
37.5 mm																					
31.5 mm																					
26.5 mm	0	100.0																			
19 mm	211	95.8	0	100.0																	
13.2 mm	4621	3.4	148	96.3	0	100.0							-	100.0							
4.75 mm	168	0.0	3753	2.5	108	94.6	0	100.0					-	66.3							
2.36 mm			99	0.0	1833	2.9	29	97.1					-	50.8							
600 μm					59	0.0	485	48.6	-	100.0	-	24.9									
300 μm							302	18.4	-	100.0	-	17.8									
150 μm							119	6.5	-	98.1	-	10.3									
75 μm							39	2.6	-	88.6	-	6.1									
受 皿							26	-	-	-	-	-									
合 計	5000		4000		2000		1000		-		-										
表乾比重		-		-		-		-		-		-									
見かけ比重		2.739		2.713		2.719		2.613		2.73		-									
吸水率		-		-		-		-		-		-									
最大比重		-		-		-		-		-		2.485									

備 考

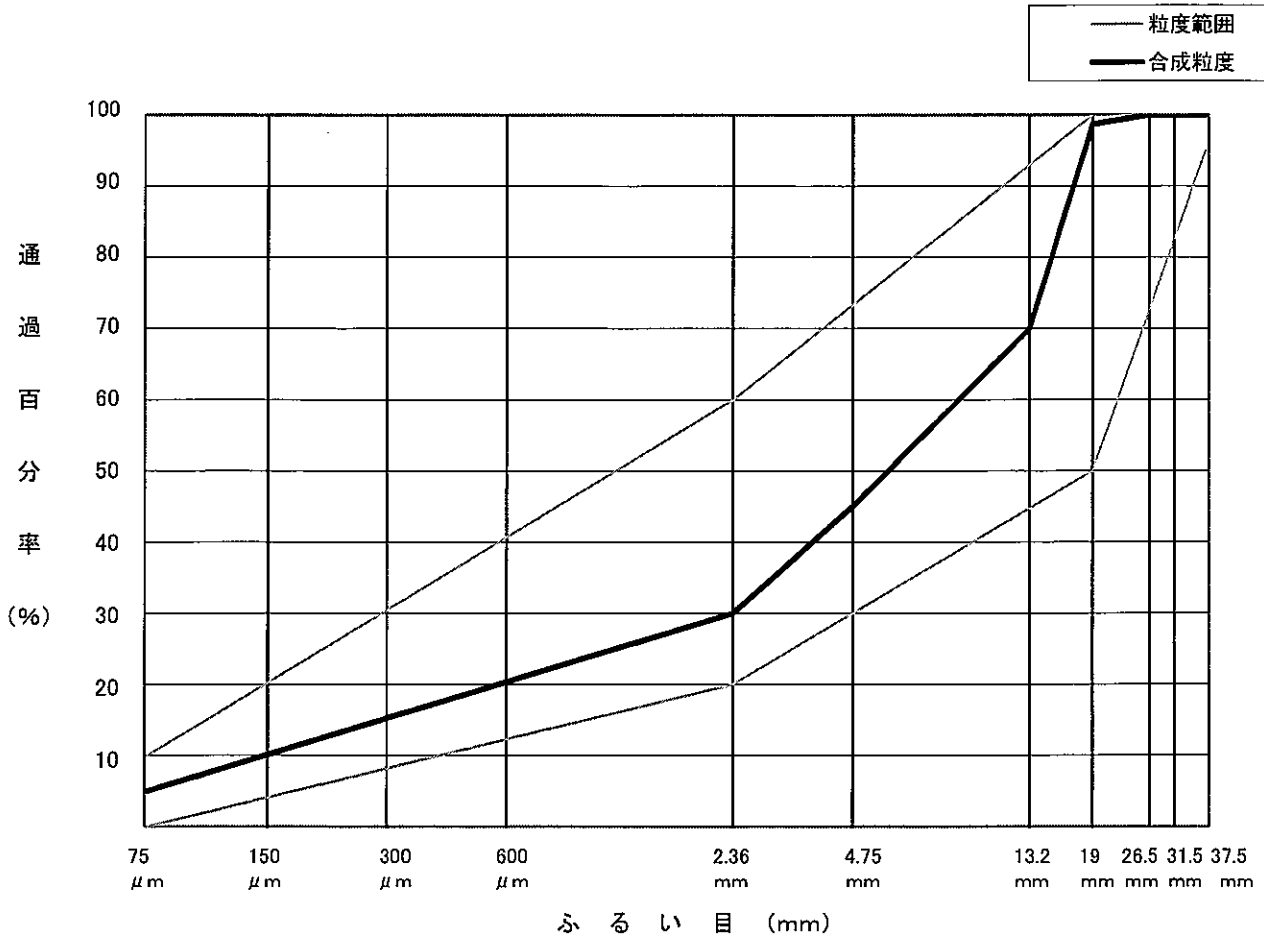
	4ピン	3ピン	2ピン	1ピン	F	R材					
修正配合率 (%)	30.7	7.3	7.5	2.5	2.0	50.0					
37.5 mm											
31.5 mm											
26.5 mm	100.0										
19 mm	95.8	100.0									
13.2 mm	3.4	96.3	100.0			100.0					
4.75 mm	0.0	2.5	94.6	100.0		66.3					
2.36 mm		0.0	2.9	97.1		50.8					
600 μm			0.0	48.6	100.0	24.9					
300 μm				18.4	100.0	17.8					
150 μm				6.5	98.1	10.3					
75 μm				2.6	88.6	6.1					

	各骨材別配合比										合成 粒度	予定 粒度	
	4ピン	3ピン	2ピン	1ピン	F	R材							
37.5 mm													
31.5 mm													
26.5 mm	30.7											100.0	100.0
19 mm	29.4	7.3										98.7	98.9
13.2 mm	1.0	7.0	7.5			50.0						70.0	70.0
4.75 mm	0.0	0.2	7.1	2.5		33.2						45.0	45.0
2.36 mm		0.0	0.2	2.4		25.4						30.0	30.0
600 μm			0.0	1.2	2.0	12.5						15.7	16.0
300 μm				0.5	2.0	8.9						11.4	11.8
150 μm				0.2	2.0	5.2						7.4	7.7
75 μm				0.1	1.8	3.1						5.0	5.1

備 考

粒度加積曲線図 (現場配合)

工種：再生アスファルト安定処理



理論最大密度の計算表 (現場配合)

● 骨材配合

骨材の種類	配合比 %		骨材の比重 C	係数 D=B/C
	A 骨材のみ (内割)	B 旧AS (外割)		
4ピン	30.7	30.70	2.739	11.208
3ピン	7.3	7.30	2.713	2.691
2ピン	7.5	7.50	2.719	2.758
1ピン	2.5	2.50	2.613	0.957
F	2.0	2.00	2.73	0.733
R材	50.0	52.65	2.485	21.187
I = 102.65				
旧AS量	2.65 (外割%)			
係数の和			K =	39.534
備考				

● 新アスファルト添加量

再生AS量%	4.00				
再生AS量% (外割%)	4.17				
旧AS量% (外割%)	2.65				
再生用添加剤量% (外割%)	-				
新AS量% (外割%)	1.52				
新AS / 旧AS 比	36 / 64				

● 理論最大密度

AS混合率%	AS密度				理論最大密度
E	F	$G = \frac{E}{F}$	K	H = G + K	$\frac{(I+E)}{H}$
1.52	1.037	1.466	39.534	41.000	2.541

# マーシャル安定度試験（現場配合）

工種：再生アスファルト安定処理

成型日：令和 6 年 1 月 16 日

測定者：田川 文男

試験日：令和 6 年 1 月 18 日

供試体 NO	AS %	厚さ	重 量			密度 (g/cm <sup>3</sup> )	理論最大密度	AS 容積率 (%)	空隙率 (%)	骨材空隙率 (%)	飽和度 (%)	安 定 度		フロー値 1/100cm
			空 中	水 中	表 乾							目盛	kN	
			A	B	C							D	E	
		平均				C/(E-D)		A×F /AS密度	100× (1-F/G)	H + I	100×H/J		L× 0.137	
1	4.0	639	1218.2	709.8	1224.2	2.368						59	8.08	30
2		633	1204.4	701.4	1210.9	2.364						56	7.67	28
3		637	1210.0	703.2	1215.7	2.361						54	7.40	26
平均						2.364	2.541	9.1	7.0	16.1	56.5	a	7.72	28

標準マーシャル試験	混合温度	149 °C	締固め回数両面各	50 回	供試体の浸漬時間	30 分
	締固め温度	137 °C	試験時の水温	60 °C	AS密度	1.037 g/cm <sup>3</sup>

試験日：令和 年 月 日

供試体 NO	AS %	厚さ	重 量			密度 (g/cm <sup>3</sup> )	理論最大密度	AS 容積率 (%)	空隙率 (%)	骨材空隙率 (%)	飽和度 (%)	安 定 度		フロー値 1/100cm
			空 中	水 中	表 乾							目盛	kN	
			A	B	C							D	E	
		平均				C/(E-D)		A×F /AS密度	100× (1-F/G)	H + I	100×H/J		L× 0.137	
1														
2														
3														
平均													b	

水浸マーシャル試験	混合温度	°C	締固め回数両面各	回	供試体の浸漬時間	時間
	締固め温度	°C	試験時の水温	°C	AS密度	g/cm <sup>3</sup>
					残留安定度 b/a×100	%

## 配合表（現場配合）

令和 6 年 1 月 18 日

使用材料 (mm)	外割配合率 (%)	外割配合率 (旧AS含む) (%)	現場指示配合率 (旧AS含む) (%)	1バッチ重量 (kg)	累計重量 (プラント配合) (kg)	備 考
4ピン (碎石 19 ~ 13.2)	30.7	30.70	29.47	294.7	294.5	再生合材の合成アスファルト量 (C)+(D) = 4.00 % = 4.0 %
3ピン (碎石 13.2 ~ 4.75)	7.3	7.30	7.01	70.1	364.5	
2ピン (碎石 4.75 ~ 2.36)	7.5	7.50	7.20	72.0	436.5	
1ピン (碎石 2.36 ~ 0)	2.5	2.50	2.40	24.0	461.0	
石 粉	2.0	2.00	1.92	19.2	19.0	
再生骨材 (碎石 13.2 ~ 0)	50.0	50.00	48.00	(A) 480.0	(A)+(B) 505.5	
旧アスファルト	-	2.65	(C) 2.54	(B) 25.4	-	
再生用添加剤	-	-	-	-	-	
新アスファルト	-	1.52	(D) 1.46	14.6	14.5	
合 計	100.0	104.17	100.00	1000.0		

## 温度管理目標値

工種：再生アスファルト安定処理

令和 6 年 1 月 18 日

ストレートアスファルトについて	温度範囲	目標温度
1. 混合温度	使用アスファルトの動粘度 150 ~ 300 センチストークス (セイボルトフロール秒 75 ~ 150 秒)時の温度範囲の 中から選ぶものとし、運搬距離等を考慮して混合温度を設定する。	160 °C
2. アスファルト加熱温度	上記動粘度範囲より設定する。	155 °C
3. 骨材加熱温度	混合温度より 30 °C高くする。	190 °C
4. 敷きならし温度	110 °C以上の為	140 °C
5. 一次転圧温度	110 °C ~ 140 °Cの為	130 °C
備考		

## プラント基準値

● アスファルト量

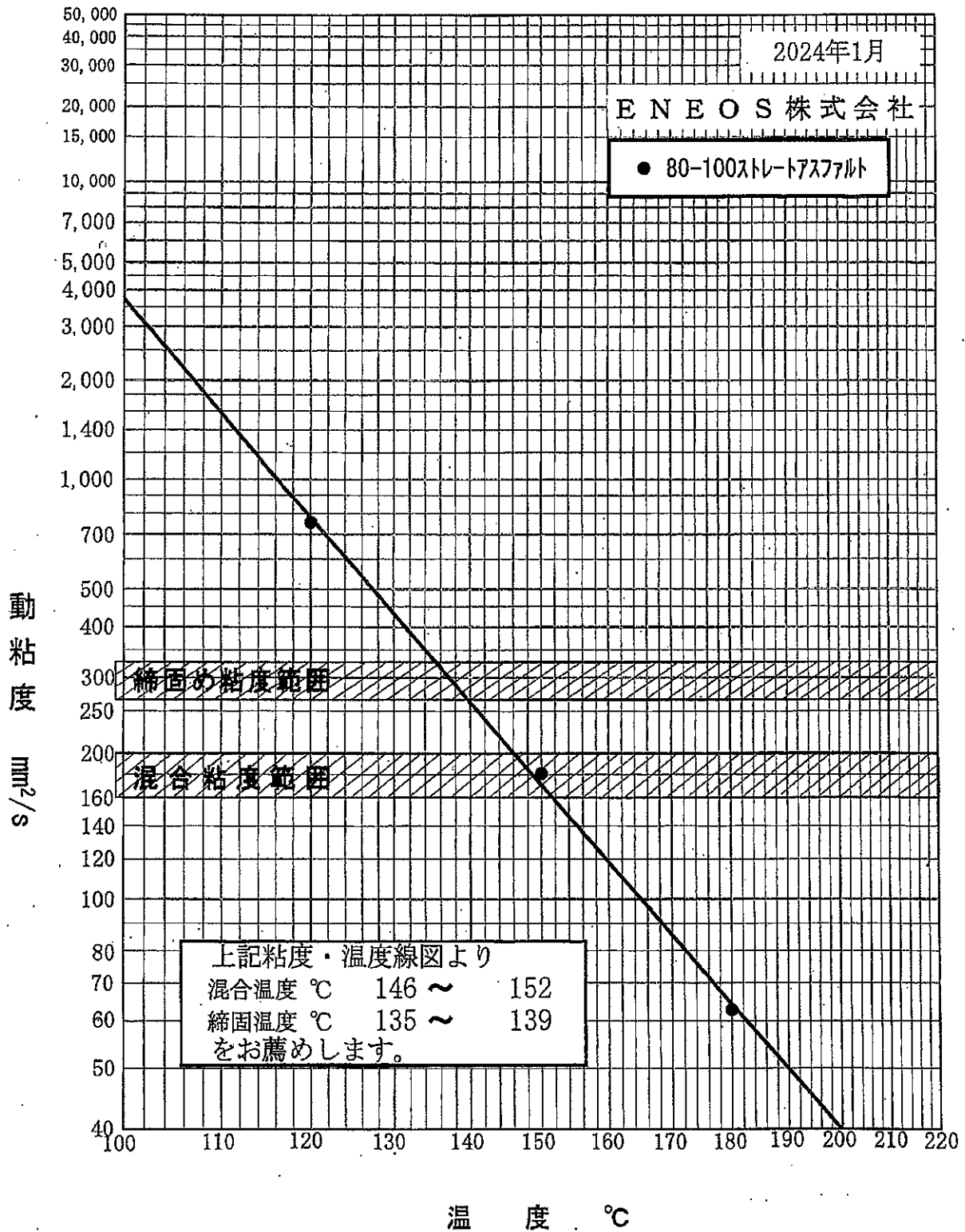
アスファルト量 (%)	4.0 %	
-------------	-------	--

● 骨材粒度

ふるい目の開き	通過重量百分率 (%)
37.5 mm	
31.5 mm	
26.5 mm	100.0
19 mm	98.7
13.2 mm	70.0
4.75 mm	45.0
2.36 mm	30.0
600 μm	15.7
300 μm	11.4
150 μm	7.4
75 μm	5.0

備考





粘度 - 温度図

出荷場所：水島A工場





粗骨材の比重及び吸水率試験		試験報告用紙	
試料名 <u>S-20 (5号)</u> 試験年月日 <u>令和6年1月9日</u> 資料採取場所 <u>岡山県真庭市神代</u> 試験者 <u>田川文男</u>			
骨材の最大寸法 <u>20</u> mm 試験時の水温 <u>20</u> °C			
試料番号		1	2
① 表乾重量 (g)		5029.3	5019.7
② 水中重量 (g)		3180.3	3171.4
③ 試量容積 (cm <sup>3</sup> )	①-②	1849.0	1848.3
④ 表乾比重	①÷③	2.720	2.716
<b>1</b> 平均		2.718	
⑤ 乾燥後の試料重量 (g)		5004.3	5001.4
⑥ 見掛比重	⑤÷(⑤-②)	2.744	2.733
<b>2</b> 平均		2.739	
⑦ 吸水量 (g)	①-⑤	25.0	18.3
⑧ 吸水率 (%)	⑦÷⑤×100	0.500	0.366
<b>3</b> 平均 (%)		0.433	
備考			

粗骨材の比重及び吸水率試験		試験報告用紙	
試料名 <u>S-13 (6号)</u> 試験年月日 <u>令和6年1月9日</u> 資料採取場所 <u>岡山県真庭市神代</u> 試験者 <u>田川文男</u>			
骨材の最大寸法 <u>13</u> mm 試験時の水温 <u>20</u> °C			
試料番号		1	2
① 表乾重量 (g)		4025.9	4034.3
② 水中重量 (g)		2521.7	2524.7
③ 試量容積 (cm <sup>3</sup> )	①-②	1504.2	1509.6
④ 表乾比重	①÷③	2.676	2.672
<b>1</b> 平均		2.674	
⑤ 乾燥後の試料重量 (g)		3992.2	4000.0
⑥ 見掛比重	⑤÷(⑤-②)	2.715	2.711
<b>2</b> 平均		2.713	
⑦ 吸水量 (g)	①-⑤	33.7	34.3
⑧ 吸水率 (%)	⑦÷⑤×100	0.844	0.858
<b>3</b> 平均 (%)		0.851	
備考			

粗骨材の比重及び吸水率試験		試験報告用紙	
試料名 <u>S-5 (7号)</u> 試験年月日 <u>令和6年1月9日</u> 資料採取場所 <u>岡山県真庭市神代</u> 試験者 <u>田川文男</u>			
骨材の最大寸法 <u>5</u> mm 試験時の水温 <u>20</u> °C			
試料番号		1	2
① 表乾重量 (g)		2035.1	2041.3
② 水中重量 (g)		1275.3	1280.1
③ 試量容積 (cm <sup>3</sup> )	①-②	759.8	761.2
④ 表乾比重	①÷③	2.678	2.682
<b>1</b> 平均		2.680	
⑤ 乾燥後の試料重量 (g)		2020.1	2021.6
⑥ 見掛比重	⑤÷(⑤-②)	2.712	2.726
<b>2</b> 平均		2.719	
⑦ 吸水量 (g)	①-⑤	15.0	19.7
⑧ 吸水率 (%)	⑦÷⑤×100	0.743	0.974
<b>3</b> 平均 (%)		0.859	
備考			

細骨材の比重及び吸水率試験		試験報告用紙	
試料名 <u>粗砂</u> 試験年月日 <u>令和6年1月9日</u> 資料採取場所 <u>日南町花口</u> 試験者 <u>田川文男</u>			
試験時の水温 <u>20</u> °C フラスコの容積 <u>A 500</u> CC			
試料番号		1	2
① 試料重量 (g)		500.0	500.0
② フラスコ重量 (g)		152.9	153.4
③ 試料+フラスコ+水重量 (g)		956.1	956.1
④ 水の重量 (g)	③-①-②	303.2	302.7
⑤ 試量容積 (cm <sup>3</sup> )	A-④	196.8	197.3
⑥ 表乾比重	①÷⑤	2.541	2.534
<b>1</b> 平均		2.538	
⑦ 乾燥後の試料重量 (g)		496.3	496.1
⑧ 見掛比重	⑦÷(A-④-⑨)	2.570	2.565
<b>2</b> 平均		2.568	
⑨ 吸水量 (g)	①-⑦	3.7	3.9
⑩ 吸水率 (%)	⑨÷⑦×100	0.746	0.786
<b>3</b> 平均 (%)		0.766	
備考			

細骨材の比重及び吸水率試験		試験報告用紙	
試料名 <u>細砂</u>		試験年月日 <u>令和6年1月9日</u>	
資料採取場所 <u>北栄町松神</u>		試験者 <u>田川文男</u>	
試験時の水温 <u>20</u> °C			
フラスコの容積 <u>A 500</u> CC			
試料番号		1	2
① 試料重量 (g)		500.0	500.0
② フラスコ重量 (g)		151.2	153.8
③ 試料+フラスコ+水重量 (g)		953.3	957.2
④ 水の重量 (g)	③-①-②	302.1	303.4
⑤ 試量容積 (cm <sup>3</sup> )	A-④	197.9	196.6
⑥ 表乾比重	①÷⑤	2.527	2.543
<b>1</b> 平均		2.535	
⑦ 乾燥後の試料重量 (g)		486.3	486.1
⑧ 見掛比重	⑦÷(A-④-⑨)	2.640	2.661
<b>2</b> 平均		2.651	
⑨ 吸水量 (g)	①-⑦	13.7	13.9
⑩ 吸水率 (%)	⑨÷⑦×100	2.817	2.859
<b>3</b> 平均 (%)		2.838	
備考			

細骨材の比重及び吸水率試験		試験報告用紙	
試料名 <u>スクリーングラス(SC)</u>		試験年月日 <u>令和6年1月9日</u>	
資料採取場所 <u>岡山県真庭市神代</u>		試験者 <u>田川文男</u>	
試験時の水温 <u>20</u> °C			
フラスコの容積 <u>A 500</u> CC			
試料番号		1	2
① 試料重量 (g)		500.0	500.0
② フラスコ重量 (g)		152.1	153.3
③ 試料+フラスコ+水重量 (g)		959.9	962.8
④ 水の重量 (g)	③-①-②	307.8	309.5
⑤ 試量容積 (cm <sup>3</sup> )	A-④	192.2	190.5
⑥ 表乾比重	①÷⑤	2.601	2.625
<b>1</b> 平均		2.613	
⑦ 乾燥後の試料重量 (g)		492.6	493.1
⑧ 見掛比重	⑦÷(A-④-⑨)	2.666	2.686
<b>2</b> 平均		2.676	
⑨ 吸水量 (g)	①-⑦	7.4	6.9
⑩ 吸水率 (%)	⑨÷⑦×100	1.502	1.399
<b>3</b> 平均 (%)		1.451	
備考			

## 粗骨材の剥離抵抗性試験報告書

試料名 : S-13(6号碎石)

試験日 : 令和 6 年 1 月 9 日

試験場所 : 永瀬産業(株)

試験者 : 田川 文男

### ◇ 骨 材

岩 種 : 硬質砂岩

産 地 : 岡山県真庭市神代

生産会社 : (株)マルケイ

### ◇ アスファルト

種 類 : ストアス(60-80)

製造会社 : ENEOS株式会社

針入度 : 65

軟化点(°C) : 49.0

180cSt時の温度(°C) : 153

### ◇ 結 果

評価者名	A	B	C	D	E	平均
剥離面積率 (%)	3	4	3	3	4	3.4

報告値 3 %





## 骨材試験成績書

郵便番号 717-0023  
依頼者 所在地 岡山県真庭市江川846番地  
会社名 (株)マルケイ 様  
(依頼者コード= 08070)

令和5年11月6日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和5年12月1日 鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地  
公益財団法人鳥取県建設技術センター  
代表理事 河田 英明  
署名者 材料試験課長 福長 宏之



1. 試験種別	A08-1 A09-1 A10-1 A11-1 A13-1 A14-1 A18-1
2. 受付番号	231106012
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	S-20(5号)

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。





## 骨材試験成績書

郵便番号 717-0023  
依頼者 所在地 岡山県真庭市江川846番地  
会社名 (株)マルケイ 様  
(依頼者コード= 08070)

令和5年11月6日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和5年12月1日 鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地  
公益財団法人鳥取県建設技術センター  
代表理事 河田 英明  
署名者 材料試験課長 福長 宏之



1. 試験種別	A08-1 A09-1 A10-1 A11-1 A13-1 A14-1 A18-1
2. 受付番号	231106012
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	S-13(6号)

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

# 試験結果

## 道路用骨材

受付番号	231106012	生産地・採取地	岡山県真庭市神代
名称等	S-13(6号)	生産者・採取者	(株)マルケイ
試験年月日	令和5年11月29日	試験責任者	大西 慶祐
備考	*		

## 試験結果

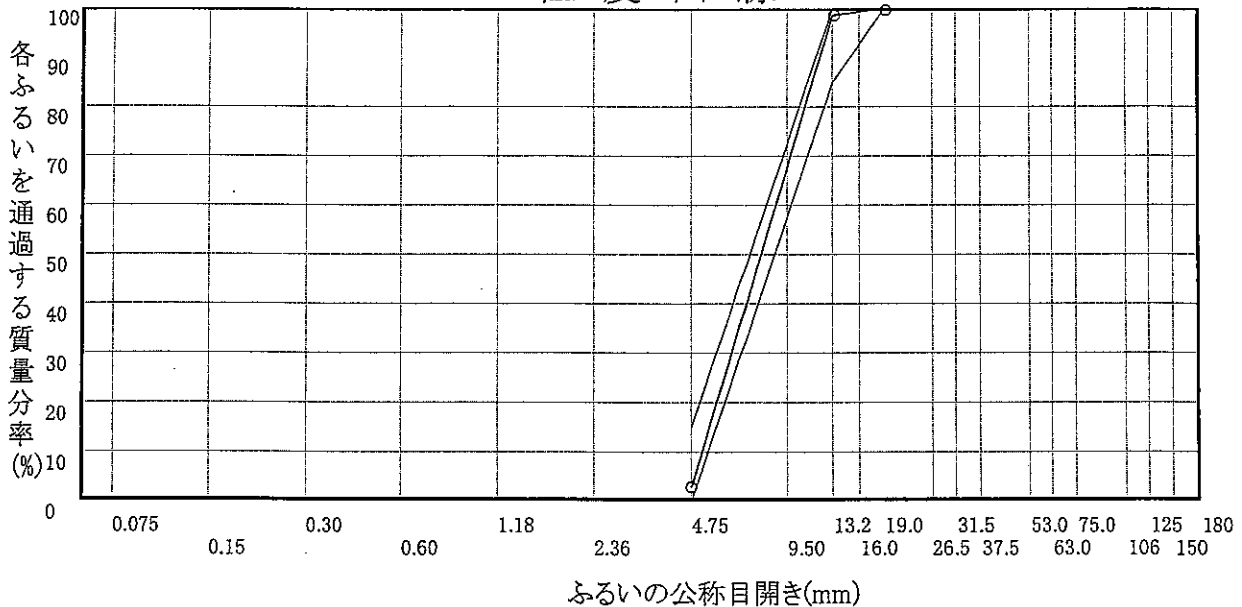
密度及び 吸水率 JISA1110: 2006	表乾密度	2.679 g/cm <sup>3</sup>
	かさ密度	2.657 g/cm <sup>3</sup>
	見掛密度	2.715 g/cm <sup>3</sup>
	吸水率	0.799 %
単位容積質量 JISA1104:2006	1.58 kg/L	
実積率 JISA1104:2006	59.5 %	
微粒分量 JISA1103:2014	* %	
すりへり減量 JISA1121:2022	粒度区分 30%以下 (*) 13.3 %	
安定性 JISA1122:2014	5.1 %	
有機不純物 JISA1105:2015	*	
塩化物 JISA5002:2003	* %	
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007	2.6 %	
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007	* %	
粘土塊量 JISA1137:2014	0.11 %	

## ふるい分け試験結果

JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
19.0	*	*	100.0
13.2	*	*	98.8
4.75	*	*	3.1
粗粒率	*		
摘要			

## 粒度曲線





## 骨材試験成績書

郵便番号 717-0023  
依頼者 所在地 岡山県真庭市江川846番地  
会社名 (株)マルケイ 様  
(依頼者コード= 08070)

令和5年11月6日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和5年12月1日 鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地  
公益財団法人鳥取県建設技術センター  
代表理事 河田 英明  
署名者 材料試験課長 福長 宏之



1. 試験種別	A08-1 A09-1 A10-1 A11-1 A13-1 A14-1 A18-1
2. 受付番号	231106012
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	S-5(7号)

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

# 試験結果

## 道路用骨材

受付番号	231106012	生産地・採取地	岡山県真庭市神代
名称等	S-5(7号)	生産者・採取者	(株)マルケイ
試験年月日	令和5年11月30日	試験責任者	大西 慶祐
備考	*		

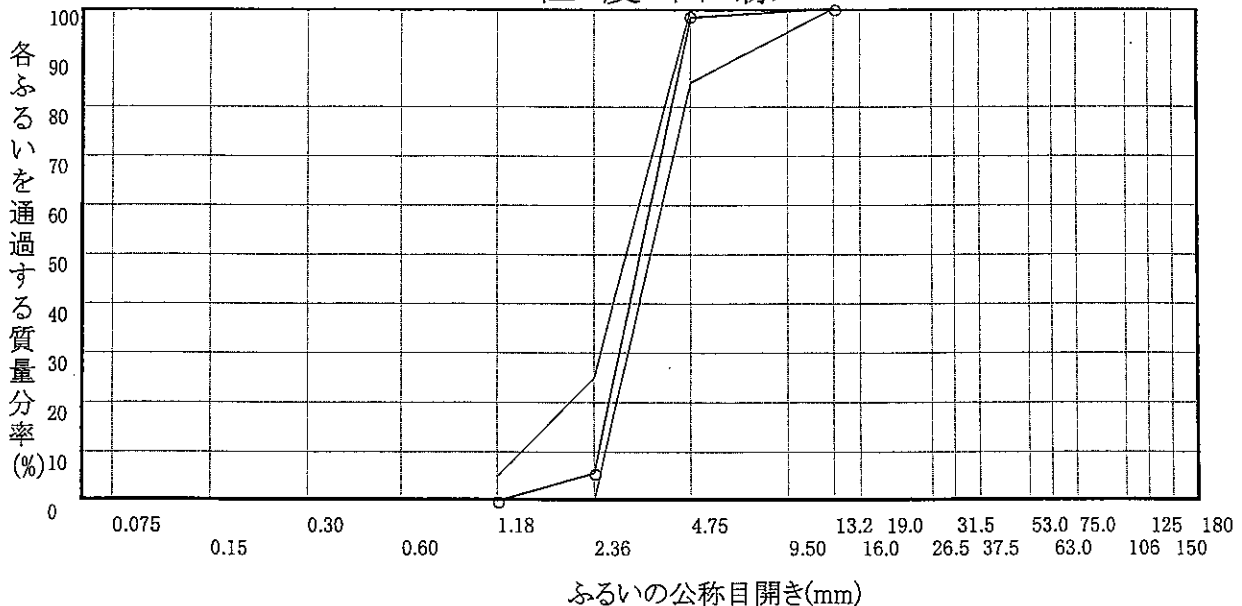
## 試験結果

密度及び 吸水率 JISA1110: 2006	表乾密度	2.686 g/cm <sup>3</sup>
	かさ密度	2.663 g/cm <sup>3</sup>
	見掛密度	2.727 g/cm <sup>3</sup>
	吸水率	0.888 %
単位容積質量 JISA1104:2006	1.53 kg/L	
実積率 JISA1104:2006	57.5 %	
微粒分量 JISA1103:2014	* %	
すりへり減量 JISA1121:2022	粒度区分 (D区分) 30% 以下 13.3 %	
安定性 JISA1122:2014	1.1 %	
有機不純物 JISA1105:2015	*	
塩化物 JISA5002:2003	* %	
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007	0.0 %	
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007	* %	
粘土塊量 JISA1137:2014	0.13 %	

## ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
13.2	*	*	100.0
4.75	*	*	98.4
2.36	*	*	5.7
1.18	*	*	0.0
粗粒率	*		
摘要			

## 粒度曲線





## 骨材試験成績書

郵便番号 683-0101  
依頼者 所在地 米子市大篠津町3280番地  
会社名 永瀬産業(株) 様  
(依頼者コード= 00411)

令和5年11月6日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和5年12月1日 鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地  
公益財団法人鳥取県建設技術センター  
代表理事 河田 英明  
署名者 材料試験課長 福長 宏之



1. 試験種別	A01-1 A02-1 A03-1
2. 受付番号	231106013
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	加工砂

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

# 試験結果

## 道路用骨材

受付番号	231106013	生産地・採取地	日野郡日南町花口
名称等	加工砂	生産者・採取者	生山礦業(株)
試験年月日	令和5年11月30日	試験責任者	大西 慶祐
備考	加工砂		

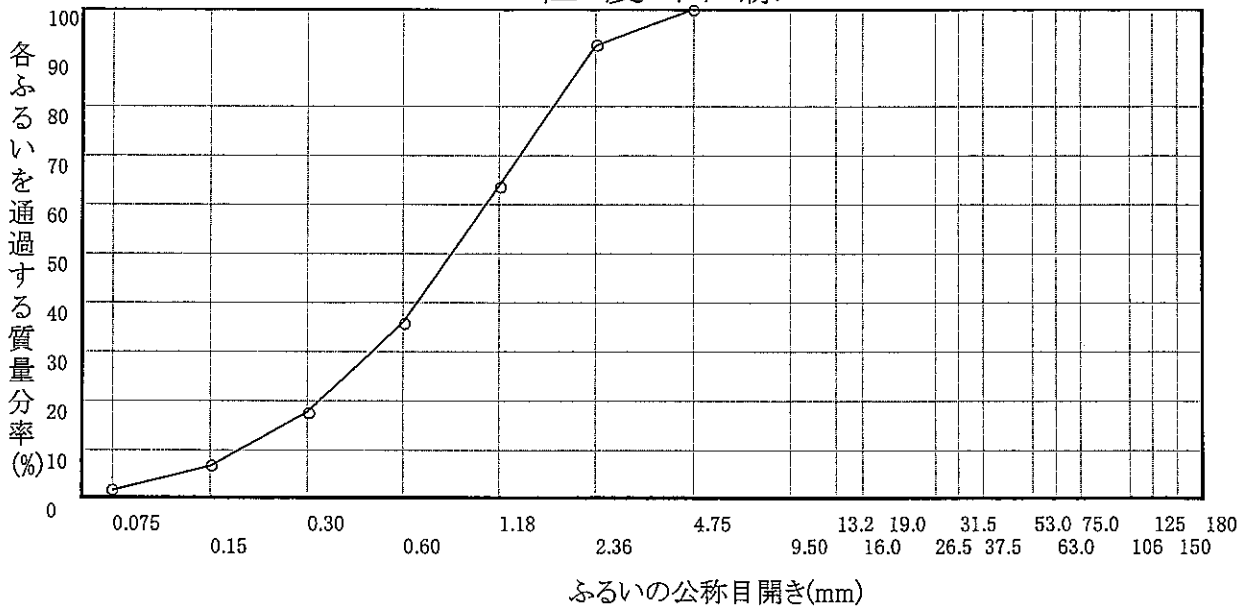
### 試験結果

密度及び吸水率 JISA1109:2006	表乾密度	2.536 g/cm <sup>3</sup>
	かさ密度	2.515 g/cm <sup>3</sup>
	見掛密度	2.569 g/cm <sup>3</sup>
	吸水率	0.829 %
単位容積質量 JISA1104:2006		1.66 kg/L
実積率 JISA1104:2006		66.0 %
微粒分量 JISA1103:2014		* %
すりへり減量 JISA1121:2022		粒度区分(*) * %
安定性 JISA1122:2014		* %
有機不純物 JISA1105:2015		* %
塩化物 JISA5002:2003		* %
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007		* %
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007		* %
粘土塊量 JISA1137:2014		* %

### ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
13.2	*	*	*
4.75	*	*	100.0
2.36	*	*	92.7
1.18	*	*	64.0
0.60	*	*	36.1
0.30	*	*	17.9
0.15	*	*	6.9
0.075	*	*	2.0
受皿	*	*	*
粗粒率	*		
摘要			

### 粒度曲線





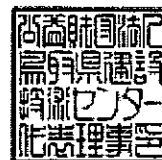


## 骨材試験成績書

郵便番号 683-0101  
依頼者 所在地 米子市大篠津町3280番地  
会社名 永瀬産業(株) 様  
(依頼者コード= 00411)

令和5年11月6日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和5年12月1日 鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地  
公益財団法人鳥取県建設技術センター  
代表理事 河田 英明  
署名者 材料試験課長 福長 宏之



1. 試験種別	A01-1 A02-1 A03-1
2. 受付番号	231106013
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	天然砂

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

# 試験結果

## 道路用骨材

受付番号	231106013	生産地・採取地	東伯郡北栄町松神
名称等	天然砂	生産者・採取者	(株)北和
試験年月日	令和5年11月30日	試験責任者	大西 慶祐
備考	細砂		

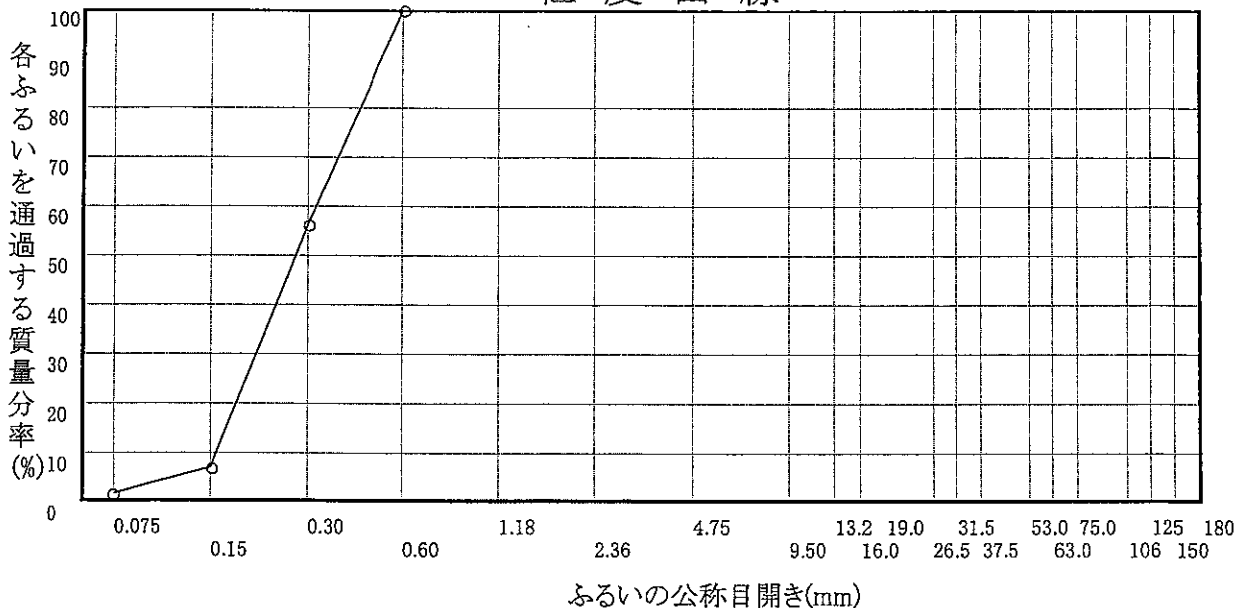
### 試験結果

密度及び 吸水率 JISA1109: 2006	表乾密度	2.533 g/cm <sup>3</sup>
	かさ密度	2.464 g/cm <sup>3</sup>
	見掛密度	2.647 g/cm <sup>3</sup>
	吸水率	2.802 %
単位容積質量 JISA1104:2006	1.55 kg/L	
実積率 JISA1104:2006	62.9 %	
微粒分量 JISA1103:2014	* %	
すりへり減量 JISA1121:2022	粒度区分 (*)	* %
安定性 JISA1122:2014	* %	
有機不純物 JISA1105:2015	* %	
塩化物 JISA5002:2003	* %	
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007	* %	
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007	* %	
粘土塊量 JISA1137:2014	* %	

### ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
13.2	*	*	*
4.75	*	*	*
2.36	*	*	*
1.18	*	*	*
0.60	*	*	100.0
0.30	*	*	56.5
0.15	*	*	7.2
0.075	*	*	1.7
受皿	*	*	*
粗粒率	*		
摘要			

### 粒度曲線





## 骨材試験成績書

郵便番号 717-0023  
依頼者 所在地 岡山県真庭市江川846番地  
会社名 (株)マルケイ 様  
(依頼者コード= 08070)

令和5年11月6日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和5年12月1日

鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地  
公益財団法人鳥取県建設技術センター  
代表理事 河田 英明  
署名者 材料試験課長 福長 宏之



1. 試験種別	A02-1 A03-1 A15-1
2. 受付番号	231106012
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	スクリーニングス

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

# 試験結果

## 道路用骨材

受付番号	231106012	生産地・採取地	岡山県真庭市神代
名称等	スクリーニングス	生産者・採取者	(株)マルケイ
試験年月日	令和5年11月20日	試験責任者	大西 慶祐
備考	*		

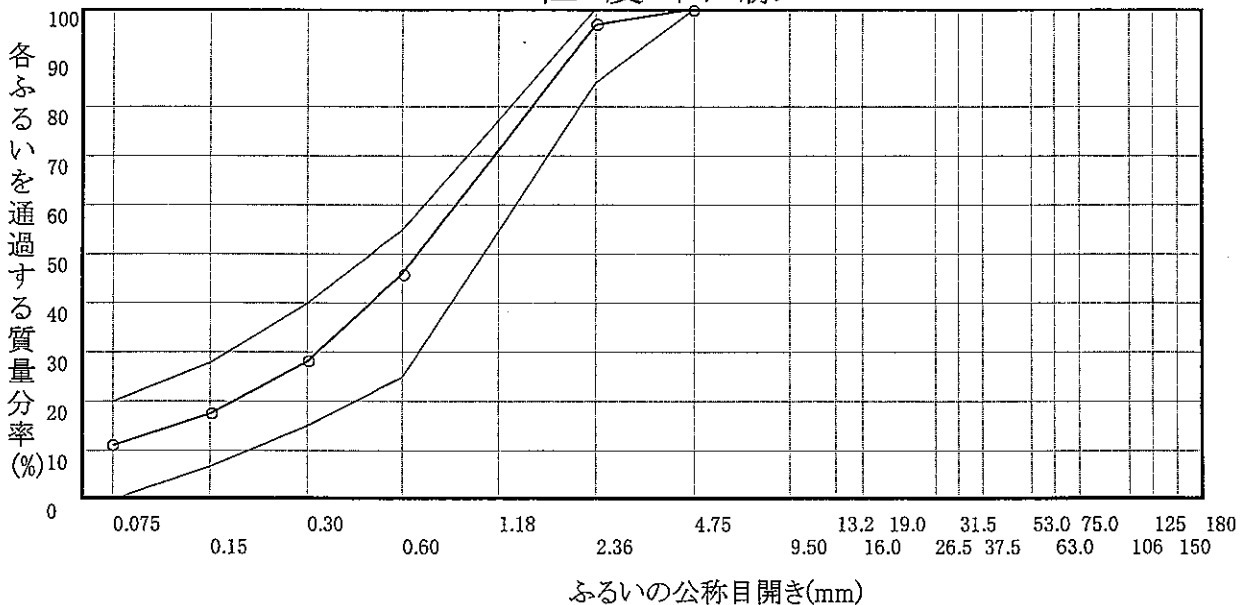
### 試験結果

密度及び吸水率 JISA1109:2006	表乾密度	2.609 g/cm <sup>3</sup>
	かさ密度	2.571 g/cm <sup>3</sup>
	見掛密度	2.673 g/cm <sup>3</sup>
	吸水率	1.489 %
単位容積質量 JISA1104:2006	1.79 kg/L	
実積率 JISA1104:2006	69.6 %	
微粒分量 JISA1103:2014	* %	
すりへり減量 JISA1121:2022	粒度区分(*) * %	
安定性 JISA1122:2014	* %	
有機不純物 JISA1105:2015	* %	
塩化物 JISA5002:2003	* %	
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007	* %	
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007	* %	
粘土塊量 JISA1137:2014	* %	

### ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

種別 ふるいの公称目開き(mm)	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率(%)	各ふるいにとどまる質量分率(%)	各ふるいを通過する質量分率(%)
13.2	*	*	*
4.75	*	*	100.0
2.36	*	*	96.9
1.18	*	*	71.8
0.60	*	*	46.1
0.30	*	*	28.4
0.15	*	*	17.7
0.075	*	*	11.3
受皿	*	*	*
粗粒率	*		
摘要	JIS A 5001: 2008 に準拠		

### 粒度曲線




# 力計検査成績書

2023年9月7日

永瀬産業株式会社

御中

最大能力	30 kN	検定実施日	2023年9月7日
器物 No.	640	室内温度	22℃
ダイヤゲージ No.	AVAF86	検定担当	榎本 

検定器 100 kN	No. AHE180017
------------	---------------

平均係数	0.13730
------	---------

## 対数表

荷重 (kN)	ダイヤルゲージの読み
0	0
3	21.9
5	36.0
8	58.0
10	72.5
15	109.1
20	146.1
25	183.2
30	220.9
—	—

〒536-0011 大阪府大阪市城東区放出西2丁目5番3号

株式会社 土木試験機製作所

TEL: 06-6167-4167 FAX: 06-6167-4168

本成績書有効期限: 2025年 9月迄

※要部修理・交換・改造が成された場合、本書は無効となります。

## 校正証明書

依頼者名	株式会社 土木試験機製作所
依頼者住所	大阪府大阪市城東区放出西2-5-3
計量器の名称	ロードセル(圧縮型高精度荷重計)
型式及び器物番号	CLJ-100KNB (圧縮 100 kN) No.AHE180017
管理番号	DSR-100KN
製造者名	株式会社 東京測器研究所
指示装置及び器物番号	デジタル指示計 PSD-NB No.17340996
管理番号	DSR-100KN-D
製造者名	Mantracourt
校正方法	JQA校正要領書による (文書番号 E534619) - JIS B 7721:2018に準じる
校正実施条件	2頁のとおり
校正結果	3頁のとおり
校正実施年月日	2023年6月12日
校正実施場所	愛知県北名古屋市沖村五反22番地 一般財団法人 日本品質保証機構 中部試験センター 計量計測課校正室

校正結果は以上のとおりであることを証明します。

2023年6月13日

愛知県北名古屋市沖村五反22番地

一般財団法人 日本品質保証機構

中部試験センター

所長 田中 雄



この証明書は、計量法第144条第1項に基づくものであり、特定標準器(国家標準)にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。

書面による承認なしに、この証明書のカラーコピー及び一部分のみを複製して使用することを禁じます。当センターは、ISO/IEC 17025:2017に基づく校正機関として認定されています。

## 校正実施条件

- 1) 校正に使用した参照標準は以下のとおりである。

名 称	油圧式力基準機
校正証明書番号	No.215353
校正年月日	2021年9月21日
型式及び能力	油圧式; 300 kN
器物番号	AKN-01202-1
力の方向	圧縮力
力基準機が発生する校正力の相対拡張不確かさ	
力の範囲	相対拡張不確かさ( $k=2$ )
3 kN ~ 300 kN	0.023 %
5 kN ~ 300 kN	0.020 %

- 2) 校正は、校正器物に圧縮力を作用させて実施した。
- 3) 予備負荷は校正サイクルの前に3回実施した。
- 4) 第一の校正サイクルでは力を増加および減少させて測定した。第二および第三の校正サイクルでは力を増加させて測定した。
- 5) 予備負荷および各校正サイクル間の待機時間は3分である。
- 6) 指示装置の分解能は、0.1である。
- 7) 力変換器と指示装置の接続ケーブルは、5.2 mの長さである。
- 8) 校正に用いる機器等は、校正を始める0.5時間以上前からすべての校正が終了するまで連続して通電した。
- 9) 校正実施場所の温度、相対湿度、気圧は以下のとおりであった。

温度:	22.8 °C~22.9 °C
相対湿度:	58 %±10 %
気圧:	1005 hPa±1 hPa

以下余白

原本と相違ありません。

## 校正結果

力の方向：圧縮

力 kN	出力値 (内挿校正式 による値)	相対拡張 不確かさ (%)	相対誤差(参考)(%)			相対分解能 (参考) (%)
			繰返し性	零	往復	
		$U$	$b$	$f_0$	$v$	$a$
3	2.9	2.9	0.00	0.00	0.00	3.45
5	4.9	1.7	0.00	0.00	0.00	2.04
10	9.9	0.83	0.00	0.00	0.00	1.01
15	14.9	0.56	0.00	0.00	0.00	0.67
20	19.9	0.44	0.00	0.00	0.00	0.50
25	24.9	0.44	0.40	0.00	0.00	0.40
30	29.9	0.37	0.33	0.00	0.00	0.33
40	39.8	0.27	0.00	0.00	0.00	0.25
50	49.8	0.20	0.00	0.00	0.00	0.20
60	59.8	0.20	0.17	0.00	0.00	0.17
80	79.7	0.13	0.00	0.00	0.00	0.13
100	99.7	0.11	0.00	0.00	—	0.10

## 内挿校正式

力F(kN)から出力値Xを算出：

$$X = A_0 + A_1 \cdot F + A_2 \cdot F^2 + A_3 \cdot F^3$$

$$A_0 = -9.9070 \times 10^{-2}$$

$$A_1 = 1.0008$$

$$A_2 = -9.0726 \times 10^{-5}$$

$$A_3 = 6.2817 \times 10^{-7}$$

出力値Xから力F(kN)を算出：

$$F = B_0 + B_1 \cdot X + B_2 \cdot X^2 + B_3 \cdot X^3$$

$$B_0 = 9.9025 \times 10^{-2}$$

$$B_1 = 9.9924 \times 10^{-1}$$

$$B_2 = 9.1119 \times 10^{-5}$$

$$B_3 = -6.3342 \times 10^{-7}$$

相対誤差の決定は、JIS B 7721 : 2018の6.4.5項、6.4.8項及び6.5項、相対分解能の決定は同6.2項及び6.3項による。

相対拡張不確かさは、信頼の水準約95 %に相当し、包含係数 $k$ は2である。

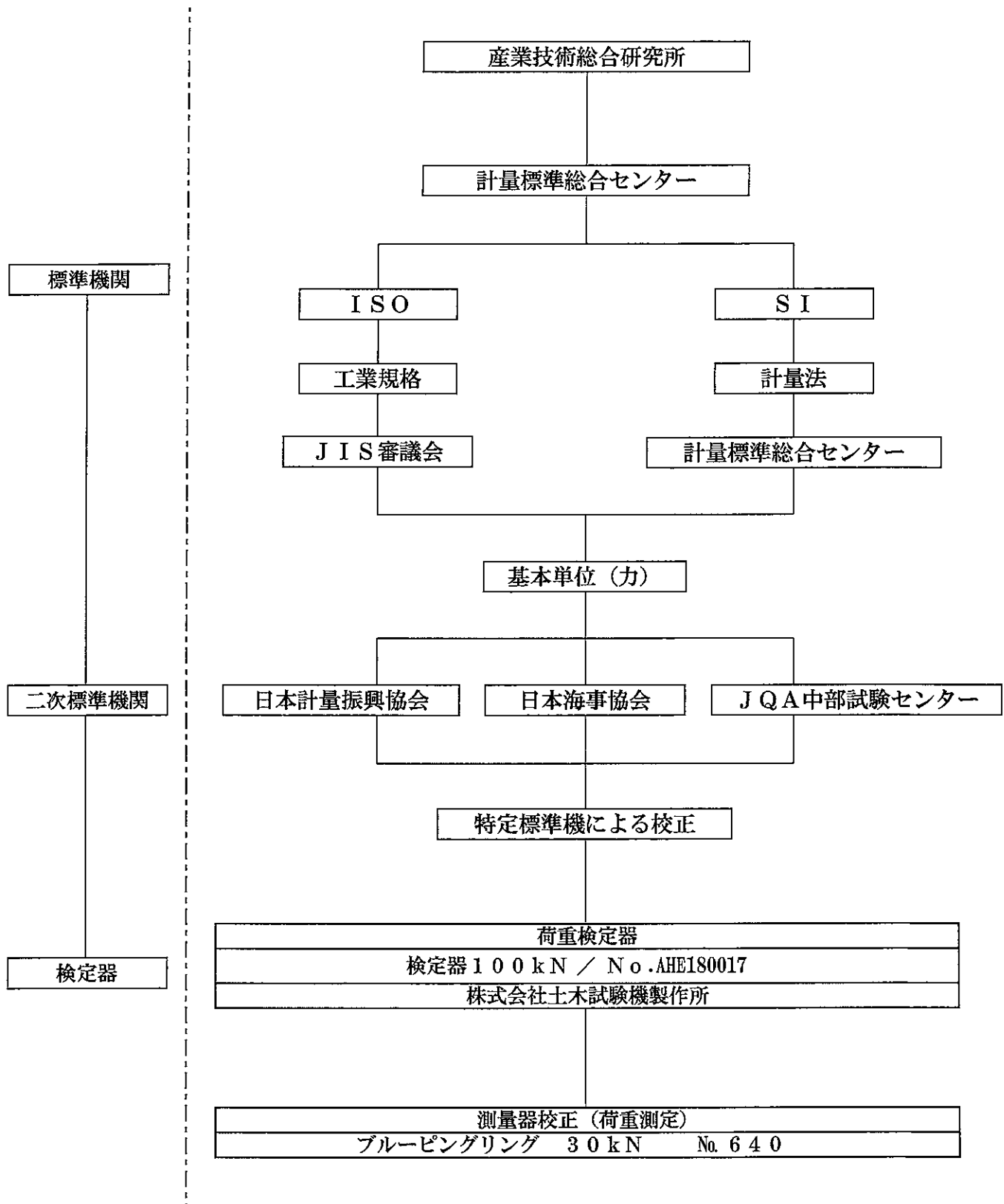
特記事項：校正品の受領後、ゼロ調整を除き修理及び調整を行わず校正を実施した。

以上

**原本と相違ありません。**



# 『力』関係トレーサビリティ体系図



2023年9月7日

〒536-0011 大阪府東区船出西2丁目5-3  
 株式会社 土木試験機製作所  
 TEL: 06-6167-4167 / 06-6167-4168

